

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等ちやれんじくらぶ 春日教室		
○保護者評価実施期間	令和8年 3月 2日		令和8年 3月 11日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27名	(回答者数) 18名
○従業者評価実施期間	令和8年 3月 2日		令和8年 3月 11日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しております。	保護者様から聞き取りを行い、利用者の行動を客観的に記録し、支援会議を行っております。また、児童発達支援管理責任者だけでなく、職員が共通理解の下で会議を行っております。	問題が発生した際に素早く対応できるように、また、児童状況を全職員が把握できるように取り組んでおります。
2	活動内容(カリキュラム)の固定化しておりません。	より多くの利用者へ利用してほしい為、人気な活動に関しては週ごとに曜日をずらしています。 次月のカリキュラムや空き状況を早めにお伝えし、出席希望を保護者様から連絡をしやすいよう行っております。	各カリキュラムにもいづれ飽きができることを想定し、その都度活動内容に変化を入れるようにして行っております。 利用者に寄り添い、職員間以外に周囲(児童や家庭)の意見も取り入れながら行っております。
3	多数の資格保持者が在籍しています。	職員ひとりひとりが様々な研修を受講しており、事業所間でも研修内容の報告会を行っております。定期的に社内研修もを行い、全職員が高い意識・知識を持って日々努めることができております。	各職員が様々な研修を受講し、その都度事業所内で研修内容の発表会を行うことで、より意識・知識の向上に努められる為、行っております。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域や外部組織とのコミュニケーションが不足していると考えられます。	外部施設の利用や他事業所(他教室)との交流はあるが、外部との交流まではできていませんでした。	他事業所(他教室)と連携し合同カリキュラムや外部講師などを招き、交流する機会の増加を検討していきたいと考えております。
2	インフルエンザやコロナウイルスなど感染症の影響もあったが、保護者会や親子参加型のカリキュラムが少ないと考えられます。	開催時期の固定化ができていませんでした。	今後、保護者様の意見を聞き取りながら日程やカリキュラムの機会を増加を検討しております。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ちゃれんじくらぶ 春日教室

公表日 令和8年 3月 19日

利用児童数

33 名

回収数

18

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	2		1		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	13	1		4		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	1	1	2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15	1		2		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	3	1			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16	1		1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14	2		2		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16	1		1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13	3	2			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	3				
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	1	3	7		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17	1				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16	1	1			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	3	4	4		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	14	2	2			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	2	1			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13	4		1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	3	4	1		
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	2	1	3			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	1		4		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15	2	1			
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16	2				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	1		7		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	1	1	9		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	2		4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	1	1	3		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15	2	1		下級生との関係がうまくいかず、ストレスを感じる事もある。	学習部屋と自由活動を行う部屋を分け、静かに過ごせるスペースを設けております。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15	3				
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	2	1			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ちゃれんじくらぶ 春日教室		公表日		2026年3月19日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		状況に応じて、活動部屋・学習部屋を使い分けております。	完全個室として音・光の遮断が難しいですが、事務所など使用し子どもたちが落ち着ける場所を提供しております。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		利用する児童数に対して、半数以上のスタッフ体制を整えております。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	現在対象となる児童は在籍していませんが、バリアフリーになっております。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		朝と終業前に清掃を実施しております。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		クールダウンする為に事務室や学習部屋などを使用し対応させていただいております。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		社内規定マニュアルに準じ業務を行っており、スタッフの水準が向上出来るよう努めております		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		自己評価アンケート調査後、事業所内で共有し業務改善に努めております。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		週一回で職員間で会議を行い日々の業務に努めております。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2		外部評価は実施していませんが、保護者様からの意見を尊重し業務改善に繋げております。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		事業所内や外部講師の研修を行い、支援の質の向上に努めております。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		事業所内でミーティングを行い、プログラムを作成し公表しております。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		アセスメントシートの確認の他に送迎時やモニタリングなどで計画の見直し・作成を行っております。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		計画書作成に向けて児童発達支援管理責任者を中心にスタッフ会議を行い、情報共有・交換することで支援の方向性を全職員で共有することを心掛けております。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		⑩同様でスタッフ間で共有し支援に向けて日々取り組む事ができております。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		児童発達支援管理責任者を中心に情報交換・共有する機会も設けており、問題が発生した際に素早く対応できるように、また児童状況を全職員が把握できるように実施しております。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		個別支援計画書に各項目に記載できるようになっており、モニタリング会議やアンケートでの聞き取り支援内容を設定し作成しております。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		全事業所で月1回カリキュラム作成に向けて会議を行っております。その後、事業所内で話し合いを全職員で詳細を決定したうえで作成しております。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		全職員で意見交換を行い、カリキュラムのアンケートなど聞き取りを活動内容が偏らないように作成しております。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		専門的支援計画に沿って、個別・集団での支援を行っています。個々活動や集団活動に変化をつけてコミュニケーションや集中力、発想力など得意分野を伸ばしている。また苦手な部分を少しでも克服できるよう計画を立てております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		朝礼・昼礼以外にも前日までに打ち合わせし支援内容や役割分担について確認しております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		支援後には事業所内だけでなく他事業所との反省の共有を行い、次回に向けて話し合いを行っております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		日報や児童ごとに記録を取っており、確認させていただいております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		定期的にモニタリング会議を実施し、各ご家庭と相談支援事業所との連携を取っており、計画書の作成・見直しを行っております。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5		個別、集団療育活動を通して生活能力や社会への適応能力などを高めていけるよう支援に取り組んでまいります。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		各利用者へ聞き取りやこども会議の時間を設けている為、全利用者が発言・決定権を持って日々過ごせる環境づくりを心掛けております。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		基本的に児童発達支援管理責任者が参加し、質の高い会議ができるよう児童によっては参加する職員を変更や専門資格を持った職員が参加するなど工夫しております。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	2	協力医療機関とは連携して対応できるようにしております。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	2	送迎時に学校からの情報は職員間で共有させていただいております。	学校側から伝えてもらえない場合もありますが、事業所から学校へはお伝えするようしております。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		5		直接はありませんが、相談支援事業所・契約時に保護者様よりアセスメントシートなどを用いて、情報を提供してもらっております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		5		現段階では該当する利用者おりません。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	4	定期的に外部講師による研修やWEB研修、直接施設に研修に行く機会を設けております。	連携はとれておりませんが、研修は定期的に行っております。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		5		機会は少ないが、スポーツセンターや公共の場を利用することで他者との交流をする機会を設けております。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		5		参加しておりません。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		送迎時やモニタリング会議など、保護者様以外にも相談支援事業所との連携を取り、共通理解の下、支援を行っております。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3		ペアレントトレーニングは実施しておりませんが、面談や送迎時に伝えております。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時に伝える事ができております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		利用者の意思を尊重し何事も決定事項の前に選択肢を与えており、利用者その家族の意向を確認する機会を定期的に設けております。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		見学時、契約時に支援内容やサービス内容の説明をお伝えし署名で同意を得ております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		相談には、状況に応じて対応し支援を行っております。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	1		現在、全保護者様参加型での説明は行えていないが、ご家族（保護者様・きょうだい）参加型でのカリキュラムを取り入れております。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		苦情について本社や他事業所にも情報共有を行い、改善に向けて方向性を定めて対応しております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		カリキュラムの掲示やホームページ、Instagramなどで活動内容の発信させていただいております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		個人情報が記載された書類は、鍵付き書庫にて保管し施錠確認を行っております。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		利用者様には資料の配布で視覚化をし情報伝達しやすい環境を整備しております。保護者様との情報交換のツールとして、HUGやLINEなどを用いております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5		事業所の行事に地域住民を招待出来ておりません。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		マニュアル研修や訓練を定期的に行い、職員間で内容の見直しまで行っております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		訓練以外にも必要な備蓄品など定期的にメンテナンスも行っております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		アセスメントシートや保護者様との直接聞き取りを行い、状況把握をしております。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		事前にアレルギーについて利用者の情報を確認し共有あり、保護者様より服薬の指示がある際は対応し報告させていただいております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		定期的に研修や訓練を行い、利用者の安全管理できた環境で支援を行えている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1	事業所内の利用者へ勉強会（交通安全・事故防止・熱中症など）を送迎時にお伝えしております。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		週一回会議を行い、事業所内での共有、月一回他事業所との情報交換の機会を設けることで再発防止に向けて方策について検討しております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		外部研修や職員内でもマニュアルを下に研修を行っております。虐待防止委員会も設置しております。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		契約時や保護者様対応時に説明をした後に了承を得ております。		